

令和6年度 男子第63回・女子第54回
西日本学生ハンドボール選手権大会

大会開催にあたっての諸注意

開催日 男子：令和6年8月11日（日）～8月16日（金）

女子：令和6年8月12日（月）～8月16日（金）

大会会場 京都市横大路体育館
京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）体育館
京都市立伏見港公園体育館

～ 一般社団法人全日本学生ハンドボール連盟 関西学生ハンドボール連盟 ～

競技上の注意

1. 競技規則

本大会は、2024 年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び最新の競技規則によって行う。

2. 競技時間

- (1) 予選リーグは25分(前半)－10分－25分(後半)で実施、延長戦は行わない。決勝トーナメント、インカレ決定戦は30分(前半)－10分－30分(後半)で行われる。決勝トーナメント準決勝までとインカレ出場決定戦は第1延長まで、男女決勝戦は第2延長まで実施する。それでも勝敗が決しない場合には7MTCを実施する。
- (2) 加算式の電光表示板を使用する。
- (3) 競技終了の合図は、ブザーまたは笛で行う。
- (4) 退場者は、退場者電光掲示板の入場時間表示で対応する。電光掲示板表示は「0」になれば入場することができる。各種のトラブル等で退場者電光掲示板が使用できないときには、オフィシャル席上に掲示する。入場の判断は、チームの責任による。オフィシャル席からは合図することはなく、また、問いかけられても回答しない。

3. 予選リーグ戦(男子8リーグ・女子4リーグ)順位決定方法

4チームによるリーグ戦の順位決定方法は、以下のとおりとする。

- A:勝ち点制(勝=2点・引き分け=1点・負=0点)で、勝ち点の多いチームを上位とする。
- B:勝ち点が同数である場合、当該チームの対戦の勝者を上位とする。
- C:該当チーム間の試合の総得点・総失点の差で多いチームを上位とする。
- D:該当チーム間の総得失点差が同数の場合、総得点の多いチームを上位とする。
- E:すべての試合の総得点・総失点の差で多いチームを上位とする。
- F:総得失点差が同数の場合、総得点の多いチームを上位とする。
- G:上記すべて同数(対戦者間は引き分け)の場合、抽選により決定する。

4. 全日本学生ハンドボール選手権大会出場権

男子は各リーグの1位8チーム及びインカレ出場決定戦で勝利した4チーム(12チーム)、女子は各リーグの2位までの8チームが出場権を得る。

なお、決勝トーナメントで第3位になったチームのインカレシード権は、次のとおりとする。

- ①優勝チームに敗れたチーム : 3-A
- ②準優勝チームに敗れたチーム : 3-B

5. 男子インカレ出場決定戦

組み合わせ抽選は、大会3日目(8月13日)のすべての試合が終了後、18時(予定)から京都市横大路体育館大会本部(会議室)にて実施する。該当するチームの代表者は、必ず出席すること。

6. 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会の検定球のモルテン社ヌエバX5000を使用する。空気圧は試合開始前、競技実施に支障の無いよう、TD・審判員と両チーム責任者の合意の下で決定する。

7. 競技会場

いずれの体育館のコートの広さは正規の40m×20mである。

京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）体育館のみ、サブアリーナでアップ可能。

ただし、サブアリーナは空調がなく扇風機の設置のみです。

京都市横大路体育館、伏見港公園体育館はサブアリーナ等のアップ会場はないので、試合間を原則50分間確保するように努めるが、閉館時間の関係で50分間を確保できない場合もある。また、全会場、両面テープのみ使用可であり、松やに類の使用は禁止する。

8. メンバー表の提出、トス、ユニホームなどについて

(1) メンバー表の提出、トス、ユニホームの確認は、いずれの会場も第1試合のチームは試合開始の30分前とする。第2試合以降は、京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）体育館会場では前の試合の前半終了直後に記録席前で行い、京都市横大路体育館、伏見港公園体育館会場では、試合開始の30分前に行う。メンバー表は大会申し込みされた役員5名、選手16名までを記載して提出すること。また、役員には必ずA～Eの役員カードの記号を記入しておくこと。

(2) ユニホームの確認時には、本大会で着用するすべての種類のユニホームを持参すること。調整がつかない場合には、チーム番号の大きいチーム（プログラムの下側に記載のチーム）が変更することとする（ユニホームは当該チームで事前に打ち合わせしても構わないが、当該レフェリーの承認が必要なことを忘れず、必ず打ち合わせ時にすべてのユニホームを持参すること）。また、今大会はユニホームの胸番号、背番号について、いわゆる「貼り番号」を認めるが、貼る生地の色、番号の色、デザインは、元のユニホームのデザイン、色に合わせるようにして作成し、事前に針と糸で4辺ともしっかり縫い合わせる。万が一はがれた場合は、試合に出場できなくなる。

(3) トスは、ユニホーム確認時に行う。選手、チーム役員いずれでもよいが、その場で判断できる者でなければならない。

(4) 短パンの下に着用するサイクリングパンツの着用、靴下など日本協会ホームページに掲載の「服装及び身に着けられる装具について」を本大会でも準用する。審判員、競技役員がチェックするが、責任はチーム責任者及び選手にある。ただし、ハイカラーのアンダーシャツを着用する場合は、学連独自の取り決めにより、チーム全員が同じ形態のものを着用すること（例えば、5人がハイカラー、残りが短いものであってはならない）。

9. 登録証の提出及び返却、メンバーの確認

(1) 参加申込時に決定したチーム役員、選手のみが競技に参加・出場できる。2024年度登録証は常に携帯すること。また、各試合に登録証を提出しなければ、試合に出場・参加することはできない。

(2) ベンチには、チーム責任者1名（A）を含みチーム役員5名、選手16名の合計21名まで入ることができる。

(3) 登録証は、メンバー表の提出と同時にTOに提出する。審判員とTOによって、チーム役員と選手及び登録証が確認される。試合終了後、TOから両チーム代表者に登録証が返却される。直接失格となったプレーヤーにはその場で返却しない。

(4) チーム役員は、大会主催者が準備したA・B・C・D・Eカードを着用し、試合終了後返却する。

(5) チーム役員は相手チームのコートプレーヤーとはっきり区別のできる服装でなければならない（相手ユニホームと同色のポロシャツなどのウエアを着用することは不可）。

10. 公式記録用紙（ランニング記録用紙）の確認

- (1) チーム責任者は、試合開始前にチーム役員氏名、カードナンバー及び選手の氏名と背番号が正しく記入されているかを確認し、サインする。できれば、メンバー表提出後、怪我で交代可能な試合開始10分前に記録席にて、確認、サインすることが望ましい。
- (2) 公式記録用紙（ランニング記録用紙）に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11. 交代地域

- (1) 各チームのボールは、競技開始前にケースに収納し、ベンチの後方（交代地域内）に置く。競技開始後にボールに触れることを含めて、ボールの使用は禁止する。
- (2) 飲料水は、飲み口の細い容器を使用すること。コップの使用を禁止する。ボトルの共有はできるだけ避け、個人で使用すること。
- (3) 交代地域では、あらゆる通信機器の使用を認める。利用については、（公財）日本ハンドボール協会HP掲載の「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」に準じて使用すること。
- (4) 交代地域では、大声での応援、立ち上がったままの応援は控えること。
- (5) チーム役員は原則として座っていなければならない。ただし、原則としてチーム役員1名のみが、戦術的な指示を出すことや、治療を目的としてコーチングゾーンの範囲内で動くことが許される。
- (6) 交代地域にはメンバー表に記載された役員・選手以外は立ち入りできない。競技中に荷物整理や水の補給等で、交代地域に近づくような行為は罰則の対象となる。

12. チームタイムアウト

チームタイムアウトは、前後半2回まで（1試合3回まで）とることができる。チームタイムアウト請求カード（グリーンカード）は、チーム役員だけが提出することができる。記録席の上に置かなければならない（またTDが受け取っても良い）。提出するためにコーチングエリアを超えたら、すぐにグリーンカードを提出しなければならない。躊躇することは許されない。ただし、提出の判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時がある。その場合、TDはグリーンカードを受け取らず返却することになる。

13. 休憩時間（ハーフタイム）のコートの使用

太陽が丘体育館会場については、休憩時間（ハーフタイム）のコートの使用は、次の試合のチームの練習に使用する。横大路体育館、伏見港公園体育館は次の試合のチームの使用は不可とする。

14. 2足製の厳守

競技会場内は必ず体育館シューズ（インシューズ）を着用し、屋外シューズと区別すること。

15. 松やに・松やにスプレーの使用禁止

松やに及び松やにスプレーに類するものは一切使用禁止とする（使用した場合は即刻失格とする）。ただし、両面テープのみ使用可とする。各チームにおいては、テープの後始末とゴミの持ち帰りを実践すること。

通常、練習で松ヤニを使用しているチームは、インシューズの靴底を松ヤニクリーナーで清掃した上で参加すること。また、アップで使用するボールも、松ヤニの付着していないボール用意すること。

16. T O、裁定委員会

- (1) 本大会にT Oを配置する。T Oは、競技委員長のもとで競技役員として各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するために、審判員、全ての競技役員、補助員と協力して試合を管理する責任者である。
- (2) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、全日本学生ハンドボール連盟役員及び連盟指名者とする。なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日に裁定をし、関係者に通知する。その結果は、各会場に公示する。

17. 次の試合の選手のフロアへの立ち入りについて

次の試合の選手は、太陽が丘体育館のみ、ハーフタイムでのシュート練習時のアップのためのフロア内への入場は認めるが、前半が完全に終了するまでは立ち入り禁止とする。試合終了時も両チームの挨拶が終了するまでフロアへの立ち入りを禁止する。試合中の競技場内は常に秩序を保ち、次の試合の選手がハーフタイム以外でフロア内でウォーミングアップをしたり、ボールを使用したりすることを禁止する。競技場内のフロアに座って試合を観戦することも禁止する。

18. 臨時トレーナー席

大会申し込み時に役員登録されていないチーム帯同のトレーナーのために、交代地域の外側に席を設置する。臨時トレーナーは、公的資格等を有していなければならない。臨時トレーナーは、各試合前にT Oに届出を行い、その際に保有資格の証明証等を提示すること。

臨時トレーナーは、いかなる理由があっても、交代地域、コートに立ち入ることはできない。選手は一時的に交代地域から許可なく離れて治療などを受けることができる。

19. ドーピング

今大会はJ A D A指定で、ドーピング検査の対象大会となっている。質問等ある場合には、会場内のJ A D A担当者に尋ねること。

20. 健康管理について

大会前から体調管理を十分に行わなくてはならない。

また、試合中の傷害についても、状況によって試合参加を見合わせるよう大会責任者、T O、審判員、医師から指示される場合もあるので留意すること。

21. 危機管理

各チーム、各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備えるよう心掛けること。

その他、会場利用等の注意事項

1. 体育館の開館時間について

京都市横大路体育館	1 1 日のみ午前 9 時 1 2 日以降は午前 8 時
山城総合運動公園 (太陽が丘) 体育館	全日午前 9 時
京都市立伏見港公園体育館	全日午前 9 時

※大会は有観客で実施します。

2. シューズは、インドア用とアウトドア用を必ず区別してください。

太陽が丘体育館のみ、メインアリーナ観客席内の館内コーナーにある階段を利用することを条件に、インシューズのまま、観客席⇄メインアリーナ、サブアリーナ、更衣室の移動を認めます。ただし、観客席⇄メインアリーナ、サブアリーナ、更衣室の移動の際に、メインアリーナの外（体育館入口通路）にある階段を利用する場合は、観客席、階段はアウトシューズで、階段下の通路からメインアリーナ、サブアリーナ、更衣室へはインシューズに履き替えてください。

横大路体育館はメインアリーナ入口で、伏見港公園体育館では 2 階更衣室入口手前で履き替えてください。

3. 置き引きや盗難の被害が発生しています。貴重品の管理にはくれぐれもご注意下さい。

4. ゴミは各チームお持ち帰り下さい。特に両面テープ等、出したゴミには責任を持って持ち帰り、宿舎等で責任をもって処分してください。大会本部でゴミ袋を配布します。

5. 部旗等の掲示は次の通りとします。

- ①設置する時は必ず「養生テープ」「ひも」でお願いします。ガムテープ等は使用禁止です。
- ②観客席の手すりに吊るして、他の観客の視界を遮るような貼り方は禁止します。

6. 更衣室、観客席で荷物を広げ、長時間放置し占拠することを禁止します。お互いに譲り合っ
て使用して下さい。また、場合によっては試合時の応援のスペースを指定しますので、指
示に従って下さい。

7. アップ場所について

京都市横大路体育館	メインアリーナコートのみです。 2 試合目以降のチームは、前試合後半終了後から開始してください。
山城総合運動公園 (太陽が丘) 体育館	1 試合目はメインアリーナコートで行ってください。 2 試合目以降はサブアリーナで 4 チームにて譲り合いながら行ってください。前の試合のハーフタイム中はメインアリーナコート上でのシュート練習等を認めます。 サブアリーナでボールを壁に当てることは禁止します。 試合時に荷物をサブアリーナに放置することは次の試合のアップの妨げになるので厳禁です。
京都市立伏見港公園体育館	メインアリーナコートのみです。 2 試合目以降のチームは、前試合後半終了後から開始してください。

※全会場とも体育館外の屋外のアップは原則できません。もちろん声出し、ボールの使用は厳禁です。一般の方が利用される公園なので事故が発生しないようにご配慮ください。

8. 体育館フロアへの飲料水〔スポーツドリンク等〕の持ち込みの際は、シート上で飲むようにしてください。床面を濡らしたら速やかにチームの責任で拭き取ってください。
9. マナーについて
館内は禁煙です。喫煙場所を厳守してください。学生スポーツ選手・関係者としての自覚をもって行動してください。ゴミの放置、たばこの吸殻の投げ捨て、更衣室外での更衣、ウォーミングアップ場所以外のアップなど、大会役員、学連委員等の指示に従ってください。
10. 駐車場について
全会場とも駐車場はありますが、体育館利用者のみ専有使用ではありません。また、横大路、伏見港公園体育館には大型バスの駐車場がありません。バスの乗降は近隣の幹線道路等で行ってください。近隣周辺の方々のご迷惑とならないようご注意ください。伏見港公園のみ、マイクロバスの有料駐車場（2台分）がございますが事前に利用される場合は、大会事務局 寺内 terauseven@yahoo.co.jpへ8月10日18時までに連絡をお願いします。ただし、大会専用で確保されているわけではないので利用できない場合もございます。全ての会場の駐車場は有料です。また、夜間は閉鎖されます。ご注意ください。
11. チームでのビデオ撮影について
観客席で撮影される場合は、着席した状態での撮影のみ認めます。
なお、体育館館内の電源コンセントの使用は禁止されています。
12. 大学スポーツ新聞関係者について
各大学のスポーツ新聞取材関係者は、大会本部で撮影申請申込みを事前に行ってください。ADカード（原則、カメラマン、記者の最大2名分）を配布しますので、これを携帯している人は、フロアでの撮影・取材を許可します。撮影範囲は大会本部で説明した範囲でお願いします。
13. トレーナーブースの設置について
今大会はトレーナーブースを太陽が丘体育館、横大路体育館の一部日程で設置する方向で準備を進めています。テーピングが必要な方は巻き方や処置のサポートを行いますので、必ずご自身でテーピングを用意いただきお越しくください。
14. 応援について
観客席で立ち上がったの応援は禁止します。必ず着席して応援してください。
また、撮影するときにフラッシュを使用しないでください。
他に特段の制限は設けませんが、観客の中には、補聴器やペースメーカー等の利用者が含まれる可能性がありますので、周囲の迷惑にならないようお気をつけください。
15. プログラム等の受け渡し及び内容訂正について
大会参加初日に大会本部にてプログラム等をお渡ししますので、必ず受け取りに来てください。プログラム受領後に内容を確認し、誤植等の訂正があれば、直ちに「正誤表」をご提出ください。なお、訂正は漢字の誤字脱字等のみとし、背番号の変更、選手の変更は認めません。
16. 表彰式、閉会式について
最終日の試合終了後に行いますので、男女ベスト4のチーム、優秀選手に選ばれた選手は必ず出席してください。

17. 救急病院への連絡について
救急車や病院の手配については大会本部役員及び体育館の職員を通じて行います。届出なく救急車の要請等を行わないで下さい。
18. 傷害保険の対応について
ケガ等の外傷で病院の治療を受けられる場合、大会で加入している傷害保険の手続きに「治療費の領収書」、「診察券」が必要となりますので、保管して下さい。手続きにつきまして速やかに下記の連絡先にご連絡ください。
■傷害保険担当者 東京海上日動火災保険株式会社代理店 保険・デザイン株式会社
担当者 寺内 啓之
TEL : 090-8574-2686
FAX : 06-6948-5533
メール : terauchi@hoken-d.co.jp
いつ、どこで、だれが、どうなったか、チーム名、連絡者、電話番号をお知らせ下さい。
19. 宿泊・弁当・交通手配についての問い合わせ先
■株式会社シンファート 宮本和則 携帯電話 : 090-5521-3997
20. 会場近隣病院について
各会場大会本部、またはトレーナーブースで資料を準備しております。
21. 大会プログラム販売場所について (予定)
- | | |
|--------------------------|-------------|
| ○京都市横大路体育館 | 大会本部にて販売 |
| ○京都府立山城総合運動公園 (太陽が丘) 体育館 | 体育館入口付近にて販売 |
| ○京都市立伏見港公園体育館 | 体育館2階で販売 |
22. 大会本部問い合わせ先
(昼間) 各会場大会本部
(夜間) 大会本部宿舎「大阪守口プラザホテル大日駅前」
西日本インカレ大会事務局 寺内 啓之 TEL : 090-8574-2686

以 上